

芸術表象コンセプトブック

アート・プラットフォーム

Art Platform

北澤憲昭 + 杉田 敦【編】

*2010年10月1日刊行 *四六並製 / 316 ページ *定価 1,680 円 (本体 1600 円 + 税)

アーティスト、批評家、研究者、教育者、キュレーター、プロデューサーがそれぞれの立場から、現代のアートについてどのように模索しているかが語られている。アートを取り巻く最前線から、多面的に、リアルに、投げかけられる問いは、学ぶ人、教える人に、様々なアプローチをもたらすだろう。

学ぶ人、教える人へ——
理論と実践の共鳴。
アートの現在へ
多面的にアクセスする！



<主要目次>

I. critico=critico 批評家二人による往復書簡

- I. 越後妻有から
- II. 東京から
- III. ギー・ドゥボール
- IV. プリコラージュ
- V. 背丈ほど伸びた草のなかで
- VI. クレオール

II. 表象 ROOM

- 01. 境界 アートの海岸線を歩く
- 02. ブラクティス 協働することの意味と困難
- 03. プロジェクト 見えないデッサン
- 04. 壁ざわ 脱物象化、あるいはモノからの逃走
- 05. コミットメント 見ることへの疑念と信頼
- 06. ヒストリー アクチュアルな実践として
- 07. 多様性 アートの、アートのための
- 08. エデュケーション 実践、理念、あるいは場所
- 09. 関係性 絶えず動いているものの方へ
- 10. 多島海 グリッサン、プリオー、リンギス

執筆者

北澤憲昭
杉田 敦

眞田岳彦
稲垣立男
小中大地
橋本 誠
北川フラム
富井大裕
森田浩彰
竹内万里子
稲木吉一
足立 元
藤原えりみ
山本高之
毛利嘉孝
福住 廉
小澤慶介
ロジャー・マクドナルド
管 啓次郎

北澤憲昭 | Kitazawa Noriaki

1951年生まれ。美術評論家。女子美術大学 芸術学部 美術学科 芸術表象専攻教授。1978年より美術批評の執筆を開始。主な著書に『眼の神殿——「美術史」受容史ノート』(美術出版社, 1989年)、『岸田劉生と大正アヴァンギャルド』(岩波書店, 1993年)、『境界の美術史——「美術」形成史ノート』(ブリュッケ, 2000年)、『アヴァンギャルド以後の工芸——「工芸なるもの」をもとめて』(美学出版, 2003年)など。共著に『美術史の余白に——工芸・アルス・現代美術』(美学出版, 2008年)など。展覧会企画に「アルス・ノーヴァー——現代美術と工芸のはざまに」展(2004年, 東京都現代美術館)など。『眼の神殿』はサントリー学芸賞受賞(1990年)、2010年に定本刊行。

杉田 敦 | Sugita Atsushi

1957年生まれ。美術批評。女子美術大学 芸術学部 美術学科 芸術表象専攻教授。現代美術と哲学、科学、メディアの関係について論じる。オルタナティヴ・スペース art & river bank の運営も行っている。著書に『ノード 反電子主義の美学』(青弓社, 1994年)、『リヒター、グールド、ベルンハルト』(みすず書房, 1998年)、『ナノ・ノート——現代美学で考察するということ』(彩流社, 2008年)など。編著に『アートで生きる』(美術出版社, 2010年)などがある。このほか、文化紀行として『白い街へ——リスボン、路の果てるところ』(彩流社, 2002年)、『アンソレス、孤独の群島 ボルトガル最果てへの旅』(彩流社, 2005年)がある。

美学出版

Tel. 03-5937-5466 Fax. 03-5937-5469

URL <http://www.bigaku-shuppan.jp>

E-mail: info@bigaku-shuppan.jp